

江戸川ゐのはな会

各地のゐのはな会だより

毎年春先に行われる江戸川ゐのはな会はな会総会が、本年も3月12日新小岩の料亭「有田」で開催された。大學より第一外科・奥井勝二教授、麻酔科・水口公信教授の両先生を招致し、笠川猛会長(昭22卒)始め24名が出席して盛会であった。特に今回は江戸川区内勤務医の先生が3名も初参加されたのは、喜ばしいことであった。

千葉に隣接しているだけに、区医師会内の千葉大出身者は40余名と最多数を誇り、現在江戸川区医師会長に山上健次郎先生(昭17卒)、同副会長に笠川猛先生が就任され、役員にも多くの同窓会員が活躍しておられる。しかし、学閥志向とは全く無縁で、医師会内の信頼も厚く会務も円滑に運営されている。丁度、役員改選の時期に当っていたが、山上現会長の二期目の就任がほぼ確実視されていためか、終始なごやかな雰囲気であった。また、重鎮中村民比古先生(昭13卒)が昨年末をもつて診療所を閉じられた。先生は江戸川のみならず東京のはな会の会長を歴任され、会の発展に尽力されたが、惜しまれての第一線引退となり、皆から慰労の言葉が寄せられた。

乾杯のあと、奥井、水口両先生から大学の近況を中心にいろいろお話を伺った。日當診療に追われ、

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

横須賀ゐのはな会 医薬合同同窓会

藤山嘉信(昭30卒)記

千葉とも疎遠になりがちな一同、大興味深く拝聴した。名物の升酒が回り会が盛り上がったところ、思い出等、夫々好き勝手な話をし、例年の如く一同一言ずつ發言があった。学生時代や開業当初の会をを持つことを約して散会した。

(藤山嘉信(昭30卒)記)



第12回ゐのはな 美術展開催

昭和62年7月14~20日まで、東京銀座集雅堂ギャラリーで、第12回ゐのはな美術展が開催され、書・陶器・油絵・水彩画29点が展示された。出品者は昭3卒の森本一善以下、今井知文、伊藤行男、三輪清三、池田脩三、島田通男、細井四郎、長尾透、齊藤宗寿、内田成和、大村光、天谷一栄、今井力、神山英明、石谷治彦、井上通、仲村長生、山口庚児、齊藤篤、長谷川晋吾、山森喬夫、塚田隆憲の各氏がおられる。

医学と芸術の間には共鳴する多くの面があり、よい医師の育成に美術は有用であると考えられる。本会では特に若い世代に同好者を求めている。また、母校に適当な受け皿がなければ、会員の作品を寄贈し、教室や病室に永く残せれば幸であると考えている。

(久富良次記)



卒業五十周年記念 九燐会開催

(三面につづく)



「」注意!!

始まり、長老森本一善先生(昭3卒)

の音頭で一同乾杯し、酒宴となつた。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

加しており、質・量共に高い評価

を得た。

久富良次会長(昭12卒)の挨拶に

お世話で、さる昭和62年5月16

日、同市内ホテルセントラーザ、「升かね」で開催された。

出席は医学部11名、薬学部6名

八月、日本橋三越本店で開催され

をうけている。なお、今回は出品

する日本医家美術展では、百余名参

退官記念式典開かれる

本年三月で定年により教壇を去られた奥田邦雄先生(千葉大学・内科学)、佐藤壱三先生(千葉大学・精神医学)、白壁彦夫先生(順天堂大学・内科学)および三橋公平先生(札幌医科大学・解剖学)に対する記念式典あるいは記念講演会が各大学で挙行された。

奥田邦雄教授

(昭19満大卒)



千葉大学
奥田邦雄教授

(昭19満大卒)

(上)2時30分より附属病院第一講堂にて行われた。式典では、木村医学部長、井出学長、香月放送大学長、小林同窓会会長、三輪名譽教授代表、上野第一内科同門代表、中島精神医学科同門代表の式辞があり、第一内科教室 大藤、精神医学科教室 佐藤重により両先生への謝辞が述べられた。

この度、奥田邦雄先生には3月末をもって昭和44年より16年間にわたり在任された第一内科教授を定年退官され、千葉大学名譽教授の称号を得られた。これに先立つて2月12日(木)2時半より附属病院第一講堂において最終講義が学生内は、これまでの御自身の研究内容は、これまでの御自身の研究経緯、また医学と深い関わりをもつ生命現象をその起源にさかのばつて論じたものであった。

今年度は奥田先生と精神医学科の佐藤壱三先生が一緒に御退官となつたことから、医学部主催の退官記念式典は両教授合同で3月14日

佐藤壱三教授

(昭21卒)

ついで前東大理学部教授 野田春彦氏による「生命の起源」の記念講演が行われた。

記念式典につづき病院第三講堂に会場を移して祝賀パーティに入り先輩、同僚から数々の祝辞が述べられ、和気あいあいの雰囲気のうちに式典を終了した。このよう

うに立派に退官記念行事が取り行われましたことに、教室員一同、世話人会をはじめとする関係者の方々に心からお礼を申し上げます。

千葉大学教授 大藤正雄 昭29卒

佐藤壱三教授

(昭21卒)

さるに、3月二十八日、ニューパークホテルにおいて、教室・同門主催の祝賀パーティが行われ名譽教授の先生方をはじめ、学会関係、学内外から、二百人の方が列席され、近来にない盛会でした。

また五月十八日、記念植樹として、県木の大樹を医学部正面前に植え、合同の植樹式が行なわれました。なお、今後は記念誌の回顧と展望であり、厳しさと優しさが同居する白壁教授の人生が想起された記念講演であった。前半部は、先生が医師になつた頃の日本医学会の状況および欧米流の診断学への疑問、そして研究を始めた頃の苦労などをおりませたものであった。その中では、研究に対する不斷の努力の必要性を強調されていた。

次いで消化管癌を対象としたX線診断の現況と将来への展望を語った。胃癌のX線診断は今や5歳の大きさにまで到達している。食道癌の診断も大きく進歩し、1cm

神分裂病を見る眼」は、二月四日附属病院第一講堂において行なわれました。その内容は、精神医学の幅と奥行き、ユニークな特質などを、あらためて、鮮明に印象付けるものでした。

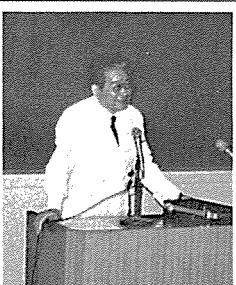
次いで、三月十四日、病院第一

講堂において、医学部主催の記念式典が行われました。たまたま同じ月に退官された第一内科奥田邦雄教授御夫妻および佐藤壱三教授は四月から千葉県立衛生短期大学の学長として元気にご活躍されおられます。

千葉大学教授 佐藤甫夫 昭35卒

白壁彦夫教授

(昭20卒)



順天堂大学
白壁彦夫教授

(昭20卒)

本年3月末日をもつて、白壁教授は19年間兼任した順天堂大学を退職されることとなり、その記念講演会が3月25日、満席の同大有

山記念館講堂で行われた。

演題は「消化管X線診断研究の

回顧と展望」であり、厳しさと優しさが同居する白壁教授の人生が想起された記念講演であった。前半部は、先生が医師になつた頃の日本医学会の状況および欧米流の診断学への疑問、そして研究を始めた頃の苦労などをおりませたものであった。その中では、研究に対する不斷の努力の必要性を強調されていた。

次いで消化管癌を対象としたX

線診断の現況と将来への展望を語った。胃癌のX線診断は今や5歳の大きさにまで到達している。食

道癌の診断も大きく進歩し、1cm

の病変を相手にするまでになつた

が、胃癌に追いつくまでには、あ

れました。その内容は、精神医学

の幅と奥行き、ユニークな特質な

どを、あらためて、鮮明に印象付

けるものでした。

次いで、三月十四日、病院第一

講堂において、医学部主催の記念

式典が行われました。たまたま同

じ月に退官された第一内科奥田

邦雄教授御夫妻および佐藤壱三

教授は四月から千葉県立衛生短期

大学の学長として元気にご活躍さ

れおられます。

千葉大学教授 佐藤甫夫 昭35卒

順天堂大学
白壁彦夫教授

(昭20卒)

本年3月末日をもつて、白壁教

授は19年間兼任した順天堂大学を

退職されることとなり、その記念

講演会が3月25日、満席の同大有

山記念館講堂で行われた。

演題は「消化管X線診断研究の

回顧と展望」であり、厳しさと優

しさが同居する白壁教授の人生が

想起された記念講演であった。前

半部は、先生が医師になつた頃の

日本医学会の状況および欧米流の

診断学への疑問、そして研究を始

めた頃の苦労などをおりませたも

のであった。その中では、研究に

対する不斷の努力の必要性を強調

されていた。

次いで消化管癌を対象としたX

線診断の現況と将来への展望を語

った。胃癌のX線診断は今や5

歳の大きさにまで到達している。食

道癌の診断も大きく進歩し、1cm

の病変を相手にするまでになつた

が、胃癌に追いつくまでには、あ

れました。その内容は、精神医学

の幅と奥行き、ユニークな特質な

どを、あらためて、鮮明に印象付

けるものでした。

次いで、三月十四日、病院第一

講堂において、医学部主催の記念

式典が行われました。たまたま同

じ月に退官された第一内科奥田

邦雄教授御夫妻および佐藤壱三

教授は四月から千葉県立衛生短期

大学の学長として元気にご活躍さ

れおられます。

千葉大学教授 佐藤甫夫 昭35卒

順天堂大学
白壁彦夫教授

(昭20卒)

本年3月末日をもつて、白壁教

授は19年間兼任した順天堂大学を

退職されることとなり、その記念

講演会が3月25日、満席の同大有

山記念館講堂で行われた。

演題は「消化管X線診断研究の

回顧と展望」であり、厳しさと優

しさが同居する白壁教授の人生が

想起された記念講演であった。前

半部は、先生が医師になつた頃の

日本医学会の状況および欧米流の

診断学への疑問、そして研究を始

めた頃の苦労などをおりませたも

のであった。その中では、研究に

対する不斷の努力の必要性を強調

されていた。

次いで消化管癌を対象としたX

線診断の現況と将来への展望を語

った。胃癌のX線診断は今や5

歳の大きさにまで到達している。食

道癌の診断も大きく進歩し、1cm

の病変を相手にするまでになつた

が、胃癌に追いつくまでには、あ

れました。その内容は、精神医学

の幅と奥行き、ユニークな特質な

どを、あらためて、鮮明に印象付

けるものでした。

次いで、三月十四日、病院第一

講堂において、医学部主催の記念

式典が行われました。たまたま同

じ月に退官された第一内科奥田

邦雄教授御夫妻および佐藤壱三

教授は四月から千葉県立衛生短期

大学の学長として元気にご活躍さ

れおられます。

千葉大学教授 佐藤甫夫 昭35卒

順天堂大学
白壁彦夫教授

(昭20卒)

本年3月末日をもつて、白壁教

授は19年間兼任した順天堂大学を

退職されることとなり、その記念

講演会が3月25日、満席の同大有

山記念館講堂で行われた。

演題は「消化管X線診断研究の

回顧と展望」であり、厳しさと優

しさが同居する白壁教授の人生が

想起された記念講演であった。前

半部は、先生が医師になつた頃の

日本医学会の状況および欧米流の

診断学への疑問、そして研究を始

めた頃の苦労などをおりませたも

のであった。その中では、研究に

対する不斷の努力の必要性を強調

されていた。

次いで消化管癌を対象としたX

線診断の現況と将来への展望を語

った。胃癌のX線診断は今や5

歳の大きさにまで到達している。食

道癌の診断も大きく進歩し、1cm

の病変を相手にするまでになつた

が、胃癌に追いつくまでには、あ

れました。その内容は、精神医学

の幅と奥行き、ユニークな特質な

どを、あらためて、鮮明に印象付

けるものでした。

次いで、三月十四日、病院第一

講堂において、医学部主催の記念

式典が行われました。たまたま同

じ月に退官された第一内科奥田

邦雄教授御夫妻および佐藤壱三

教授は四月から千葉県立衛生短期

大学の学長として元気にご活躍さ

れおられます。

千葉大学教授 佐藤甫夫 昭35卒

順天堂大学
白壁彦夫教授

(昭20卒)

本年3月末日をもつて、白壁教

授は19年間兼任した順天堂大学を

退職されることとなり、その記念

講演会が3月25日、満席の同大有

山記念館講堂で行われた。

演題は「消化管X線診断研究の

回顧と展望」であり、厳しさと優

しさが同居する白壁教授の人生が

想起された記念講演であった。前

半部は、先生が医師になつた頃の

日本医学会の状況および欧米流の

診断学への疑問、そして研究を始

めた頃の苦労などをおりませたも

のであった。その中では、研究に

対する不斷の努力の必要性を強調

されていた。

次いで消化管癌を対象としたX

線診断の現況と将来への展望を語

った。胃癌のX線診断は今や5

歳の大きさにまで到達している。食

道癌の診断も大きく進歩し、1cm

の病変を相手にするまでになつた

が、胃癌に追いつくまでには、あ

れました。その内容は、精神医学

の幅と奥行き、ユニークな特質な

どを、あらためて、鮮明に印象付

けるものでした。

次いで、三月十四日、病院第一

講堂において、医学部主催の記念

式典が行われました。たまたま同

じ月に退官された第一内科奥田

邦雄教授御夫妻および佐藤壱三

教授は四月から千葉県立衛生短期

大学の学長として元気にご活躍さ

れおられます。

千葉大学教授 佐藤甫夫 昭35卒

順天堂大学
白壁彦夫教授

(昭20卒)

本年3月末日をもつて、白壁教

授は19年間兼任した順天堂大学を

退職されることとなり、その記念

講演会が3月25日、満席の同大有

山記念館講堂で行われた。

演題は「消化管X線診断研究の

回顧と展望」であり、厳しさと優

しさが同居する白壁教授の人生が

想起された記念講演であった。前

半部は、先生が医師になつた頃の

日本医学会の状況および欧米流の

診断学への疑問、そして研究を始

めた頃の苦労などをおりませたも

のであった。その中では、研究に

対する不斷の努力の必要性を強調

されていた。

次いで消化管癌を対象としたX

線診断の現況と将来への展望を語

った。胃癌のX線診断は今や5

歳の大きさにまで到達している。食

道癌の診断も大きく進歩し、1cm

の病変を相手にするまでになつた

が、胃癌に追いつくまでには、あ

れました。その内容は、精神医学

の幅と奥行き、ユニークな特質な

どを、あらためて、鮮明に印象付

けるものでした。

次いで、三月十四日、病院第一

講堂において、医学部主催の記念

式典が行われました。たまたま同

じ月に退官された第一内科奥田

邦雄教授御夫妻および佐藤壱三

教授は四月から千葉県立衛生短期

大学の学長として元気にご活躍さ

れおられます。

千葉大学教授 佐藤甫夫 昭35卒

順天堂大学
白壁彦夫教授

(昭20卒)

本年3月末日をもつて、白壁教

授は19年間兼任した順天堂大学を

退職されることとなり、その記念

講演会が3月25日、満席の同大有

山記念館講堂で行われた。

演題は「消化管X線診断研究の

回顧と展望」であり、厳しさと優

しさが同居する白壁教授の人生が

想起された記念講演であった。前

半部は、先生が医師になつた頃の

